

第2回 KITライフサイエンスセミナー

「ヒト希少神経難病にショウジョウバエで挑む」



演者

山口政光

京都工芸繊維大学大学院・工芸科学研究科
応用生物学系・染色体工学研究分野・教授
昆虫先端研究推進センター長

日時

11月10日(木)17:00 - 18:00

会場

京都工芸繊維大学 2号館4階441号室

対象

教員，学生，一般の方

アルツハイマー病モデルやパーキンソン病モデルショウジョウバエ等がすでに開発されて、発症の仕組みの研究や、治療薬候補物質のスクリーニング等に幅広く用いられている。患者数の多いこれらのヒト神経疾患に関する研究には、大学、公的研究機関や製薬系企業等の多くの有能な研究者が参画し、病態を良く反映するマウスモデルも開発されている。一方ヒト希少神経難病に目を向けると、研究者の数も少なく、その疾患の名称すら社会的に知られていないものもある。言い換えれば希少難病は社会から置き去りにされている。私達が、ALSやCMT等のヒト希少神経難病に、ショウジョウバエモデルを用いてどのように挑戦しているのか紹介したい。